



2025 年度事業計画

一般社団法人沼津青年会議所

基本理念

会員一人ひとりが誠をもって公に貢献する

基本方針

1. ひとづくりによってまちづくり及び組織力強化に繋げる
2. 会員拡大によって将来の基礎づくりに繋げる
3. 静岡ブロック協議会の活動を支援する
4. 組織・機構のあり方について議論をし、変革の可能性を見出す

2025年度 沼津 JC スローガン

熱くなれ 公のために

16

2025年度 理事長所信

17

18

理事長 小澤 隆

19

【はじめに】

20

21

22

23

24

25

戦後、主権回復から2年後の1954年に、沼津青年会議所は設立されました。設立趣意書の冒頭には「我々青年は、敗戦後の荒廃せる祖国の再建について、その責任の重且つ大なる事を痛感し、」という言葉が綴られています。私たちの先輩は大空襲の被害の惨状を目にし、復興を願うのみならず「自分たち青年にこそ、この惨状に立ち向かう使命があるのだ」と、勇気と志を持って立ち上がった様子が伝わってきます。社会課題に真正面から立ち向かうその思いをもう一度受け継いでいきたいと強く思います。

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

沼津青年会議所の設立から71年目となる現在では、新たな社会課題が浮き彫りになっています。沼津市においては、少子高齢化や人口減少が重要な課題となっています。これにより、社会保障の維持や労働力の確保が困難となるだけでなく、テクノロジーや設備投資だけでは解決できない地域経済循環の鈍化も深刻な問題です。その結果、最終的には、市民がいかに豊かに暮らすことができるかという、明確な解答が存在しない複雑な課題に直面することになります。申すまでもなく、都市計画や商工業、農林水産業、教育など、多岐にわたる課題も存在しており、防災分野に関しては毎年のように市内で水害があり、津波に関しては避難が困難と言われているエリアも市内に存在します。このような様々な課題を認識することは、ピンチをチャンスに変えて地域の魅力を創造する、あるいは強靱な地域へと発展するための第一歩です。課題を掘り起こし、その対処として先進的な取り組みやユニークな取り組みを行なっていけば、その結果は地域の魅力となったり、あるいは機運を高め、郷土愛を育む機会にもなりうるのではないのでしょうか。全市的に社会課題に立ち向かっていくためには、官民あらゆる立場での努力が必要ですが、青年会議所はその中でも先駆けとして活動する、その誇りを持った組織です。

40

41

42

43

現在の沼津青年会議所は多くの会員を擁しているわけではありませんが、内部を強固にし、大きな志を胸に、社会課題を深く認識しつつ、明るい豊かな社会を作るために邁進して参ります。

44

【ひとづくりによるまちづくり】

45

46

47

48

49

50

まちづくりを長期的に行っていくためには、ひとづくりが必須課題です。

多くの社会課題が存在する中で、その解決に使命感を持ち、果敢に挑む人材の存在が不可欠です。しかし、戦後教育やマクロ経済の変化等に伴い、個人主義が進行し、加えて現代ではデジタルネイティブの人の割合も増え、インターネットの普及により即時性や効率性を重視し、個を尊重する傾向が強まっています。このような時代において、社会のリーダーを育成し、多様な社会課題を乗り越えるためには、時代や世代を超えて共感できる価値観を持

51 つことが求められます。

52 社会の安定と持続可能性を維持するためには、市民や周辺住民に対して、「他者のために
53 行動する」という価値観や、家族、地域、国家、さらには地球全体に貢献するという「公」
54 の視点を持つことが必要です。そうした理念や哲学を育む事業を推進して参ります。

55 加えて、青年会議所活動においても同様に社会に対して問題意識を持つ事、並びにそれを
56 解決していこうとする姿勢が肝要です。これらの事業を会員の資質向上にも大いに繋げて
57 参ります。

58

59 **【会員拡大と広報】**

60 沼津青年会議所が活力を維持し発展させ、社会に対して影響力を発揮していくために
61 は、会員拡大が必要です。現在、会員の数は充分とはいえませんが、人数が多ければ、今
62 よりももっと事業を充実させる事ができます。また、青年会議所で積極的に活動すること
63 は、社会人・経済人として大きく成長できる可能性があり、地域のリーダーを育成するこ
64 とにも繋がります。多くの方々と接点を作り、積極的にアプローチを行って参ります。

65 広報や情報発信は、信頼と共感を築くための重要な手段です。SNS 発信や WEB サイトで
66 の発信を継続し、沼津青年会議所の活動を理解していただけるよう努めて参ります。ま
67 た、対外事業においては多様な方法による広報を検討し、多くの方々へのリーチを狙いま
68 す。それぞれの事業においてはフィードバックを収集し、次の事業並びに次年度以降へ繋
69 ぐべきものは何かを検証して参ります。

70

71 **【渉外について】**

72 様々な LOM 外事業においては、それぞれの場で気付きや学びの機会があります。出向者
73 を支援し、またそれぞれの意義や魅力を会員に理解していただき、多くの会員が参加するよ
74 う務めて参ります。また、民主主義をはじめ我が国と多くの価値観を共有する台湾には、姉
75 妹 JC である龍山国際青年商會が存在し、1983 年より 40 年以上にわたり姉妹交流を続けて
76 います。今年度は我々が龍山国際青年商會を訪ねる機会があります。多くの会員とともに台
77 湾を訪問し、その絆をさらに強固にして参ります。

78

79 **【静岡ブロック協議会の支援】**

80 本年は沼津青年会議所が静岡ブロック協議会の主管を務めます。それに伴い、多くの会議
81 等が沼津市内でも行われることになり、県内 19LOM の会員が多く参加されることになりま
82 す。会議設営に関する事務等を適切に行い、おもてなしの心を持って静岡ブロック協議会を
83 支援するとともに、出向者を支えて参ります。

84

85 **【前進し続けるための組織運営姿勢】**

86 沼津青年会議所は、その活動の中に様々な伝統があります。また、事務局の業務を全て

87 会員が行っております。従来の運営方法や活動のあり方を頑なに守るだけでなく、時代に
88 即した柔軟な発想で組織運営方法を自由に議論した上で、変えるべきは変え、守るべきは守
89 ることが肝要です。必要に応じて改革を検討する機会を作ります。問題や課題を整理し、長
90 期的な目線で組織をより良く変革していける土台を作って参ります。

91

92 【最後に】

93 JCI Creed には” service to humanity is the best work of life” とあります。会員
94 諸君におかれましては、この言葉の通り、公に貢献することを喜びとして1年間の活動を
95 やり抜いて参りましょう。

96 スローガンには「熱くなれ」という表現を致しました。熱意は、モチベーションの源泉
97 であり、努力を継続する基盤であり、他者を引き付け巻き込む力となり、挑戦意欲と創造
98 力を推進し、友情と繋がりを生むものであります。社会問題の理不尽さに怒りを持つこと
99 もいいでしょう。同志との友情を喜ぶのもいいでしょう。まちづくりに対して幸福を感じ
100 ることもいいでしょう。組み立てた理論を大きく推進するのはそのような熱意です。した
101 がって、多くのことに熱意を持っていただきたいと思えます。

102 また、同じくスローガンには「公」（おおやけ）という言葉を使いました。「公」の持つ
103 意味は国家や自治体のような枠組みにとどまらず、市民が作るコミュニティや、家族のよ
104 うな共同体も公といえるのではないかと考えます。さらに、長期的な視点、次世代への責
105 任感もこの一文字に思いを込めました。己のためだけではなく、誰かのため、何かのため
106 に行動することの価値を共有し、皆で歩んで参ります。

出 向 者

◎東海地区協議会 出向者

静岡ブロック協議会担当副会長

大川 皓平

◎静岡ブロック協議会 出向者

会 長

大川 皓平

事 務 局 長

長田 達郎

ア カ デ ミ ー 委 員 会 副 委 員 長

堀江 直樹

加藤 佳史

渡邊 真太郎

国 際 交 流 委 員 会

杉澤 一平

鈴木 佑貴

ビ ジ ネ ス 委 員 会

後藤 譲治

JC ブ ラ ン デ ィ ン グ 委 員 会

若林 愛弓

◎行政等委任委員

エフエムぬまづ株式会社 取締役	理 事 長
鉄道高架化とまちづくりを推進する会 副会長	理 事 長
沼津市市民憲章推進協議会	理 事 長
沼津市社会福祉協議会 評議員	直前理事長
沼津市特別職報酬等審議会 委員	直前理事長
沼津市地域福祉計画策定懇話会	直前理事長
沼津市地域福祉活動計画策定委員会	直前理事長
沼津夏まつり実行委員会	小 野 大 輔
沼津市明るい選挙推進協議会	小 野 大 輔
沼津市「社会を明るくする運動」実施委員会	小 野 大 輔
燦々ぬまづ推進委員会	杉 澤 一 平
沼津市緑化推進協議会	杉 澤 一 平
沼津市暴力追放推進協議会 監事	杉 澤 一 平
沼津国際交流協会 理事	杉 澤 一 平
エフエムぬまづ番組審議委員会	専 務 理 事
公益財団法人沼津振興公社 理事	専 務 理 事
沼津市夏まつり実行委員会灯ろう流し部会長	専 務 理 事
鉄道高架化とまちづくりを推進する会 事務局	専 務 理 事

2025年度例会担当表

月	総 会		第1例会	
1			8 (水)	総務・財務委員会 新年賀詞交歓会
2	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会
3			8 (土)	渉外・会員委員会 東部9JC合同公式訪問例会
4			8 (火)	渉外・会員委員会 沼津JCデー
5			8 (木)	まちづくり・研修委員会
6			6 (金)	渉外・会員委員会
7			25 (金)	まちづくり・研修委員会 狩野川灯ろう流し
8	8 (火)	総務・財務委員会 定時総会	8 (金)	総務・財務委員会 定時総会
9			7 (日)	渉外・会員委員会 第58回静岡ブロック大会(御殿場)
10			8 (水)	まちづくり・研修委員会 新入会員育成セミナー最終会議
11			23 (日)	まちづくり・研修委員会
12	4 (木)	総務・財務委員会 定時総会	8 (月)	渉外・会員委員会 卒業式・卒業生を送る会

定例会議・委員会日

会合日	会 合 名	時 間	場 所
第1水曜日	正副理事長会議	19:30 ~ 21:30	JCルーム
第3木曜日	理事会	19:30 ~ 21:30	JCルーム
8日	第1例会		
各月末日	財務審査	19:00 ~ 21:00	JCルーム
定例会議日	22日	総務・財務委員会	19:00 ~ 21:00
	第2金曜日	渉外・会員委員会	19:00 ~ 21:00
	第4木曜日	まちづくり・研修委員会	20:00 ~ 22:00

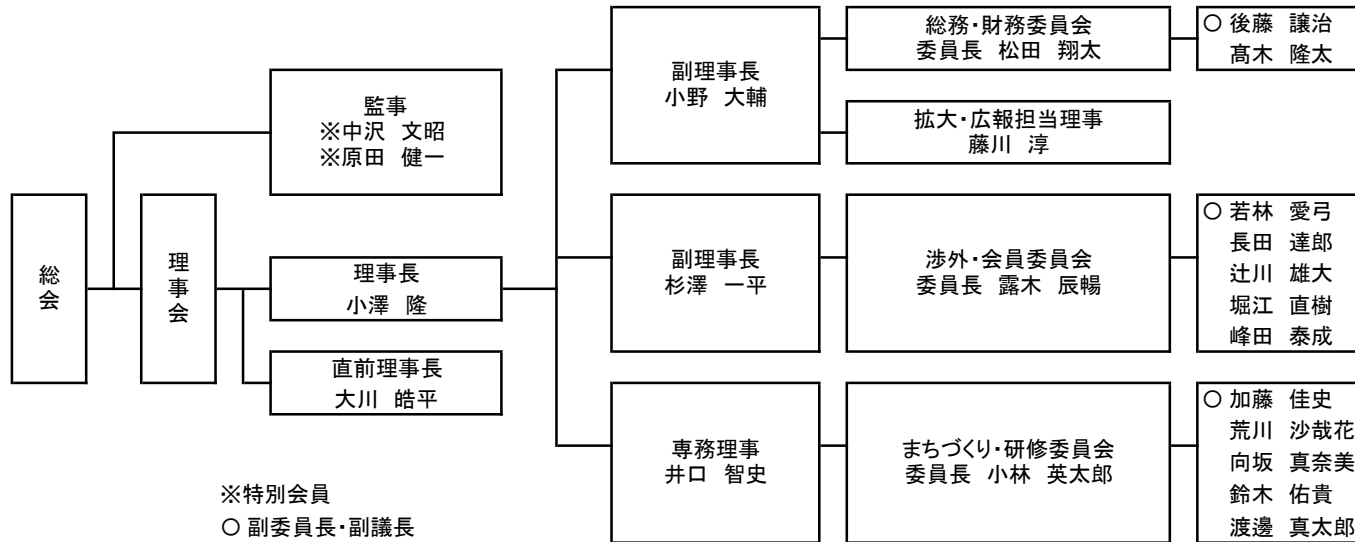
担当委員会 委員会開催日	JCルーム清掃日	委員会閉会后
--------------	----------	--------

2025年度 公式日程

	JCI・日本JC	東海地区	静岡ブロック	記念式典	例会等	理事会
1月	23日(木)~26日(日) 京都会議 25日(土) 総会 (京都)	24日(金) 第1回会員会議所会議 (京都)	19日(日) 第1回役員会議 (沼津)		8日(水) 第1例会 新年賀詞交歓会	16日(木)
2月			9日(日) 第1回会員会議所会議 第1回出向者合同会議 (熱海)		7日(金) 第1例会 定時総会	20日(木)
3月	22日(土) 総会 (東京)		2日(日) 第2回役員会議 (沼津) 16日(日) 第2回会員会議所会議 (沼津)		8日(土) 第1例会 東部9JC合同公式訪問例会 (三島)	20日(木)
4月			27日(日) 第3回役員会議 (裾野)		8日(火) 第1例会 沼津JCデー	17日(木)
5月			11日(日) 第3回会員会議所会議 (裾野)	浜名湖JC 18日(日) 50周年記念式典	8日(木) 第1例会	15日(木)
6月	12日(木)~15日(日) JCI ASPAC (モンゴル ウランバートル)		8日(日) 第4回役員会議 (沼津) 28日(土) 第4回会員会議所会議 (富士)	静岡JC 15日(日) 20周年記念式典 島田JC 未定 60周年記念式典	6日(金) 第1例会	19日(木)
7月	19日(土)~20日(日) サマーコンファレンス (横浜)	5日(土) 第2回会員会議所会議 (半田)	27日(日) 第5回役員会議 (袋井)		25日(金) 第1例会 狩野川灯ろう流し	17日(木)
8月		23日(土) 東海コンファレンス (半田)			8日(金) 第1例会 定時総会	21日(木)
9月			6日(土) 第5回会員会議所会議 (御殿場) 7日(日) 第58回静岡ブロック大会 (御殿場)	焼津JC 20日(土) 55周年記念式典	7日(日) 第1例会 第58回静岡ブロック大会 (御殿場)	18日(木)
10月	9日(木)~12日(日) 全国大会 10日(金) 総会 (佐賀)		4日(土) 第6回役員会議 (沼津) 19日(日) 第6回会員会議所会議 第2回出向者合同会議 (浜松)		8日(水) 第1例会 新入会員育成セミナー-最終会議	16日(木)
11月	2日(日)~9日(日) JCI世界会議 (チュニジア チュニス)	25日(火) 第3回会員会議所会議 (名古屋)	24日(月) 第7回役員会議 (沼津)		23日(日) 第1例会	20日(木)
12月			9日(火) 第7回会員会議所会議 (Zoom)		4日(木) 定時総会 8日(月) 第1例会 卒業式・卒業生を送る会	18日(木)

一般社団法人沼津青年会議所

2025年度 組織図



特別會員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------------|--|---|----|---|----|--|----|-------------------|---|----|-------------------|---|----|---------------------|----|---|----|--|----|--|----|------|----|--|----|-------|----|---|----|---|----|---|----|---|----|--|----|--|----|--|----|--------------------|----|--|----|--|----|---|----|---|----|---|----|-----------------------------|----|---|----|--|----|--|----|--|----|---|----|---|----|--|----|--|----|--|----|--|----|---|----|---------------------------------|----|--|----|--|----|--|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|--|----|------------------------------------|----|--|----|---|----|---|----|---|----|---|----|-----------------|----|----------------|----|-------|
| 59 | 故 宇野 紳七郎
(03年永眠) | 故 岡田 剛武
(19年永眠)
岩崎 英一
近藤 剛
酒井 吉彦
牧野 正明
三高 規由
關原 規由
堤 正喜
長澤 芳明
故 久松 繁
(99年永眠)
山田 憲市 | 一場 道彦
岩崎 英一
菊地 俊雄
佐藤 徳太郎
(22年永眠)
故 佐藤 亘弘
(07年永眠)
故 平山 義人
(98年永眠)
故 山田 喜万
(16年永眠)
故 吉田 修
(93年永眠) | 88 | 石川 利郎
植松 哲
故 長田 豊久
(11年永眠)
木村 保成
栗田 満次
向坂 義次
庄司 洋裕
杉山 裕將
高橋 正
長橋 靖
日吉 照郎
故 本多 均
(13年永眠)
故 大橋 博
(90年永眠) | 95 | 井草 基之
故 岩崎 一弘
(13年永眠)
岡本 隆行
塚崎 享一
島本 祐史
鈴木 伯明
鈴木 泰博
水口 隆太
米山 明德 | 61 | 故 野田 修
(15年永眠) | 故 佐藤 亘弘
(07年永眠)
故 平山 義人
(98年永眠)
故 山田 喜万
(16年永眠)
故 吉田 修
(93年永眠) | 62 | 故 高橋 明
(15年永眠) | 故 大川 正夫
(12年永眠)
故 近藤 安敏
(16年永眠)
杉山 実
故 名取 賢吉
(17年永眠)
真島 秀行 | 63 | 故 山内 益次郎
(06年永眠) | 78 | 故 大川 正夫
(12年永眠)
故 近藤 安敏
(16年永眠)
杉山 実
故 名取 賢吉
(17年永眠)
真島 秀行 | 67 | 故 中山 欽司
(94年永眠)
故 石川 三雄
(90年永眠) | 79 | 秋山 芳生
小川 義次
影山 桓義
故 桑原 史雄
(96年永眠)
故 鈴木 皓一郎
(02年永眠)
故 高村 光治
(16年永眠) | 68 | 友森 寛 | 80 | 故 石井 種生
(16年永眠)
今井 俊之
諏訪部 恭一
持田 真幸 | 69 | 水口 昌夫 | 81 | 故 伊藤 豪俊
(09年永眠)
小笹 皓平
小林 健次郎
白鳥 篤
故 雨谷 直美
(19年永眠) | 71 | 故 大井 一郎
(16年永眠)
故 白壁 敏夫
(06年永眠)
故 鈴木 昭身
(21年永眠)
故 辻 昌吉
(05年永眠)
故 中川 茂男
(03年永眠)
故 中西 幸雄
(06年永眠) | 72 | 故 後藤 全弘
(19年永眠)
故 保坂 静夫
(15年永眠)
故 上 作一
(93年永眠)
故 安田 昌訓
(93年永眠) | 73 | 上田 雅義
故 植松 清高
(13年永眠)
大木 一男
故 金井 敬策
(08年永眠)
故 長谷川 愛次
(06年永眠)
故 松浦 喜男
(03年永眠) | 74 | 故 市川 厚
(23年永眠)
片岡 一郎
故 加藤 晴俊
(99年永眠)
小林 日出男
故 杉本 節生
(22年永眠)
杉山 一義
高橋 啓之
故 立木 栄一
(07年永眠)
故 早崎 恒治
(11年永眠)
故 北条 利郎
(10年永眠) | 75 | 故 大川 順康
(10年永眠)
故 庄司 睦
(22年永眠)
故 田中 穂積
(98年永眠)
出木 超
故 野田 久雄
(20年永眠)
故 古郡 安雄
(11年永眠)
星谷 泰男
故 松田 久義
(03年永眠)
故 渡辺 孝雄
(04年永眠) | 76 | 故 池田 雅博
(22年永眠)
小西川 俊吾
故 柴田 栄吉
(11年永眠)
故 清 俊夫
(96年永眠)
高村 政明
坂東 功一
故 渡辺 良太郎
(17年永眠)
故 市川 治男
(88年永眠) | 77 | 故 遠藤 康昌
(02年永眠) | 82 | 芦川 稔
小笠原 一夫
金刺 勝
杉山 勲
宮沢 健二
村松 佳雄 | 83 | 故 内野 鉄紀
(07年永眠)
故 小野 恭嗣
(12年永眠)
掛橋 弘
故 瀬戸 和海
(09年永眠)
竜野 輝夫
原 富太郎
増田 陽三
水田 嘉昭 | 84 | 金崎 明弘
故 城所 延芳
(10年永眠)
後藤 靖雄
鈴木 隆義
故 高橋 浩
(24年永眠)
前田 唯良 | 85 | 宇野 統彦
杉山 宏幸
鈴木 敏
辻 進
故 土屋 照夫
(24年永眠)
長橋 和彦
野上 巖
村松 敏弘
渡辺 洋 | 86 | 榊原 進
故 佐々木 浩男
(16年永眠)
故 佐藤 光義
(22年永眠)
故 鈴木 一信
(97年永眠)
長谷川 徹一
杉 秀二
故 藤原 規夫
(16年永眠)
坂東 功一
故 宮代 定典
(15年永眠)
山形 晋一 | 87 | 故 浅見 正昭
(13年永眠)
芦川 勝年 | 89 | 赤堀 肇紀
故 居山 直行
(14年永眠)
古地 利和
長谷川 均
濱道 知
原 俊範
廣瀬 進一郎
藤田 昇
故 松下 方文
(18年永眠)
山田 薫 | 90 | 芦川 豊
故 稲木 祥雄
(12年永眠)
大池 誠美
木村 雅志
故 鈴木 啓司
(23年永眠)
故 高橋 新一
(07年永眠)
故 安田 政義
(24年永眠) | 91 | 板井 義文
佐川 康夫
勸山 光明
高村 誠
土佐谷 和貴
山下 光彦 | 92 | 岩下 龍雄
故 植松 郁男
(03年永眠)
故 江本 宗昭
(21年永眠)
大嶽 輝晃
大嶽 稔裕
尾崎 敬治
加藤 進
工藤 恵子
土屋 正明
後藤 行宏
後藤 杉山
鈴木 一郎
鈴木 典之
深瀬 和彦
望月 美樹
故 山内 一芳
(15年永眠) | 93 | 故 石原 正和
(18年永眠)
井上 孝喜
尾澤 裕
小原 嘉弘
神部 藤男
庄司 芳道
辻村 善則
平林 浜夫
前田 秀夫
前田 章
望月 耕輔
山本 達也
豊一 | 94 | 綾部 恵市
石川 秀雄
江藤 晃好
大橋 英司
柏木 順孝
金井 隆直
神農 彦彦
後藤 健 | 96 | 石井 裕利彦
遠藤 敏祐
佐々木 敏祐
杉山 由博
鈴木 正之
鈴木 泰樹 | 97 | 石川 雄一郎
井村 和弘
尾島 康男
影山 山弘
加藤 修一
栗田 恵市
長谷川 康雄
庄司 喜一郎
田代 功
藤江 州治
森田 治和
山口 和也 | 98 | 金澤 清文
上 精一郎
故 近藤 恒二郎
(01年永眠)
故 佐藤 浩人
(17年永眠)
鈴木 一
名取 正純
増山 敬一
宮澤 英紀
渡邊 聡 | 99 | 故 秋山 佳彦
(17年永眠)
稲葉 茂
梅島 佐一
遠藤 豪一
長田 健一
柏木 雅博
上條 篤士
木村 光正
工藤 政則
久保田 実
近藤 千秋
後藤 竜樹
斉藤 和子
故 塩崎 栄一
(04年永眠)
故 鈴木 孝明
(06年永眠)
高橋 誠
土屋 英治
土屋 恭博
袴田 敏照
橋本 賢一
保坂 孝始
故 峯村 重輝
(06年永眠)
渡邊 朗 | 00 | 井口 清
大野 哲
大場 公嘉
岡元 貴宏
柏木 剛示
小村 幸男
小林 龍司
小川 俊史
鈴木 康哲
芹沢 一幸
竹内 純子
徳田 和人
土井 宣博
中野 幸浩
野秋 和弘
服部 廉一郎
服部 隆利
福島 洋一郎
横山 政遵 | 01 | 市川 浩康
植松 清仁
萩原 誠
小野 弘人 | 02 | 石渡 慎一
小出 國志
小近藤 一臣
齋藤 隆一
齋藤 庄司
鈴木 幸喜
中江 喜和
服部 久美
平松 智美
宮坂 紀亮
村山 宜司 | 03 | 池田 宏明
伊藤 隆大
大村 英彰
奥村 泰宏
小野 博文
小野 俊道
金子 賢一
川口 武賢
國武 正樹
後藤 英一郎
清水 誠
鈴木 直人
故 吉川 直人
(17年永眠)
渡邊 豊 | 04 | 故 青木 秀実
(23年永眠)
青嶋 隆憲
池田 康男
池田 由佳
石川 佐和子
市川 隆一
岸本 恵美子
小林 俊彦
近藤 孝浩
高木 光浩
永田 健一郎
福室 強
室伏 智昭
安江 真一
山崎 真一 | 05 | 飯田 大志
大将 勝幸
大石 智彦
大澤 俊彦
工藤 雅也
栗原 雅樹
杉山 登
清谷 登浩
露木 育男
山口 育男 | 06 | 井出 尚武
大城 一真
岡田 貴之
原 政彦
平野 正裕
前田 泰広 | 07 | 伊海 康之
植松 守太郎
木村 太郎
小林 晃
神原 浩之
白壁 克実
鈴木 基幸
高橋 幸敏
常松 俊紀
三須 王左武 | 08 | 伊藤 謙哲
居山 茂樹
岩井 秀明
小畑 裕之
倉田 宜和
原島 弘信
山下 渡辺 迅 | 09 | 芦澤 剛彦
故 小笠原 啓之
(17年永眠)
柴田 博司
土屋 雅一
土屋 雄一朗
堤 昭人
武藤 政敏 | 10 | 井草 雅彦
小笹 真也
故 川口 浩一
(19年永眠)
芹澤 剛
原田 浩
松山 一哉
米山 健 | 11 | 金子 恭子
軍司 芳孝
小早川 幸磁
故 榊原 優子
(21年永眠)
二保 延行 | 12 | 種田 善一
小平 賢一
菅沼 俊介
諏訪部 稔也
半田 健治
渡邊 勝也 | 13 | 小山 弘道
諏訪部 剛志
高木 恵市
橋本 泰正
山田 奈帆美
米元 孝一 | 14 | 勝又 康充
柴田 常有
曾川 麻紀子
多久島 正邦 | 15 | 池田 高士
加藤 明子
川口 真澄
児島 佳代
杉澤 佳人
園田 教人
十八公 浄滋
長島 玲美
宮下 秀人 | 16 | 遠藤 啓太
小野 智紀
岡田 貴幸
勝侯 孝明
木村 友一
鈴木 智善
武田 始久
土田 智保
宮内 昌弘
村松 充
森下 拓也
山下 剛嗣 | 17 | 海野 雅貴
佐藤 将行
佐野 雅文
藤原 維仁
八木 航一 | 18 | 天野 健太郎
小野 好之也
上 哲也
木村 昌宏
後藤 裕良
長中 謙介 | 19 | 伊藤 康広
金子 直史
清水 孝文
原田 健一
細溝 剛久
山本 真太郎 | 20 | 佐々木 綱柄
中沢 文昭 | 21 | 杉澤 研三
鈴木 宏和 | 24 | 芹澤 俊和 |
|----|---------------------|--|---|----|---|----|--|----|-------------------|---|----|-------------------|---|----|---------------------|----|---|----|--|----|--|----|------|----|--|----|-------|----|---|----|---|----|---|----|---|----|--|----|--|----|--|----|--------------------|----|--|----|--|----|---|----|---|----|---|----|-----------------------------|----|---|----|--|----|--|----|--|----|---|----|---|----|--|----|--|----|--|----|--|----|---|----|---------------------------------|----|--|----|--|----|--|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|--|----|------------------------------------|----|--|----|---|----|---|----|---|----|---|----|-----------------|----|----------------|----|-------|

入会年度年齢表

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	生年 (年齢)	卒業 人数
向坂							小澤						加藤		85 (40)	3
										若林			荒川 井口 鈴木	後藤	86 (39)	5
						大川							杉澤		87 (38)	2
						峰田				辻川			渡邊		88 (37)	3
															89 (36)	0
						高木						長田	小林		90 (35)	3
															91 (34)	0
									小野	藤川					92 (33)	2
										堀江					93 (32)	1
															94 (31)	0
															95 (30)	0
															96 (29)	0
													松田		97 (28)	1
													露木		98 (27)	1

※アンダーバーは早生まれ

一般社団法人沼津青年会議所
2025年度収支予算書総括表

(2025/1/1から2025/12/31)

(単位：円)

科 目	一般会計	合 計	摘 要
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
1-1 入会金収入	160,000	160,000	
1-2 会費収入	3,440,000	3,440,000	
1-3 補助金等収入	0	0	
1-4 雑収入	515,100	515,100	
1-5 事業収入	0	0	
事業活動収入計	4,115,100	4,115,100	
前期繰越収支差額	33,126,358	33,126,358	
収入合計	37,241,458	37,241,458	
2. 事業活動支出			
2-1 事業費支出	3,506,000	3,506,000	
2-2 管理費支出	2,050,000	2,050,000	
2-3 負担金支出	547,007	547,007	
事業活動支出計	6,103,007	6,103,007	
事業活動収支差額	△ 1,987,907	△ 1,987,907	
次期繰越収支差額	31,138,451	31,138,451	

一般会計収支予算書
(2025/1/1から2025/12/31)

1. 収入の部

(単位：円)

科 目	2025年度予算	2024年度予算 (8月補正)	増 減	摘 要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①入会金収入				
1-1 入会金収入	160,000	80,000	80,000	20,000 × 8名
入会金収入 計	160,000	80,000	80,000	
②会費収入				
2-1 正会員会費収入	2,520,000	2,640,000	△ 120,000	120,000 × 21名 1月入会1名 : 120,000円 2月入会1名 : 110,000円 3月入会1名 : 100,000円 4月入会1名 : 90,000円 5月入会1名 : 80,000円 6月入会1名 : 70,000円 7月入会1名 : 60,000円 8月入会1名 : 50,000円
2-2 新入会員会費収入	680,000	230,000	450,000	
2-3 特別会員会費収入	40,000	0	40,000	40,000 × 1名
2-4 賛助会員会費収入	200,000	200,000	0	100,000 × 2社
会費収入 計	3,440,000	3,070,000	370,000	
③補助金等収入				
3-1 地方公共団体助成金収入	0	0	0	
3-2 寄付金	0	582,500	△ 582,500	
補助金等収入 計	0	582,500	△ 582,500	
④雑収入				
4-1 受取利息収入	0	0	0	
4-2 スマイル	96,100	137,400	△ 41,300	2024年度10月末時点133,472÷10×12×0.6
4-3 ペナルティー	59,000	33,540	25,460	2024年度6月末時点49,100÷6×12×0.6
4-4 その他雑収入	360,000	360,000	0	
雑収入 計	515,100	530,940	△ 15,840	
⑤事業収入				
5-1 登録料収入	0	0	0	
事業収入 計	0	0	0	
事業活動収入計	4,115,100	4,263,440	△ 148,340	
前期繰越金収入	33,126,358	36,990,476	△ 3,864,118	
収入合計	37,241,458	41,253,916	△ 4,012,458	

一般会計収支予算書

(2025/1/1から2025/12/31)

1. 支出の部

(単位：円)

科 目	2025年度予算	2024年度予算 (8月補正)	増 減	摘 要
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
1-1 渉外・広報委員会	0	900,000	△ 900,000	HP費用含む
1-2 まちづくり委員会	0	4,200,000	△ 4,200,000	
1-3 総務・財務委員会	360,000	52,000	308,000	
1-4 会員・研修委員会	0	300,000	△ 300,000	
1-5 渉外・会員委員会	386,000	0	386,000	
1-6 まちづくり・研修委員会	2,500,000	0	2,500,000	
1-7 広報・拡大担当	60,000	0	60,000	HP費用含む
1-8 事業推進費	200,000	200,000	0	
1-9 狩野川灯ろう流し	0	0	0	
事業費支出 計	3,506,000	5,652,000	△ 2,146,000	
②管理費支出				
2-1 会議費支出(総会)	20,000	20,000	0	
2-2 給与手当支出	0	0	0	
2-3 福利厚生費支出	10,000	7,920	2,080	
2-4 旅費交通費支出	0	0	0	
2-5 通信・発送費支出	200,000	200,000	0	
2-6 消耗品費支出	200,000	200,000	0	
2-7 リース料支出	55,000	55,000	0	
2-8 修繕費支出	15,000	15,000	0	
2-9 光熱水料費支出	180,000	180,000	0	15,000円×12ヶ月
2-10 賃借料支出	708,000	708,000	0	59,000円×12ヶ月
2-11 インフォメーション関係費	50,000	50,000	0	
2-12 保険料支出	10,280	10,280	0	
2-13 租税公課支出	0	0	0	
2-14 雑支出	230,000	230,000	0	
2-15 渉外費支出	330,000	297,000	33,000	JC渉外費 205,000 慶弔費 100,000 沼津国際交流協会 10,000 鉄道高架化とまちづくりを推進する会 10,000 沼津市市民憲章推進協議会 5,000 330,000
2-16 管理・運営予備費	41,720	41,800	△ 80	
管理費支出 計	2,050,000	2,015,000	35,000	
③負担金支出				
3-1 JCI負担金支出	62,582	56,108	6,474	基本金 2,158 × 21名 新入会員 2,158 × 8名
3-2 日本JC負担金支出	264,925	207,450	57,475	基本金 30,000 付加金 5,000 × 21名 前期新入会員 5,000 × 6名 後期新入会員 2,500 × 2名 協力金 1,500 × 21名 前期新入会員 1,500 × 6名 後期新入会員 750 × 2名 国際協力金 1,825 × 21名 新入会員 1,825 × 8名
3-3 地区協議会負担金支出	72,500	65,000	7,500	基本金 2,500 × 21名 新入会員 2,500 × 8名
3-4 ブロック協議会負担金支出	147,000	132,000	15,000	基本金 2,000 付加金 5,000 × 21名 新入会員 5,000 × 8名
3-5 日本JC出向者負担金支出	0	0	0	付加金 20,000 × 0名
負担金支出 計	547,007	460,558	86,449	
事業活動支出計	6,103,007	8,127,558	△ 2,024,551	
事業活動収支差額	△ 1,987,907	△ 3,864,118	1,876,211	
次期繰越収支差額	31,138,451	33,126,358	△ 1,987,907	